

キャリア教育支援事業

教学指導課

1 事業目的

長野県キャリア教育ガイドラインに基づき、地域・社会や産業界が学校を支援するしくみ(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進する。

2 事業内容

(1) 長野県キャリア教育支援センター

産学官の諸機関・団体が参加する「キャリア教育支援センター」による施策推進

- ①学校が地域・社会や産業界と連携したキャリア教育の推進
 - 産業界等に職場体験、就業体験を依頼、各市町村のキャリア教育プラットフォームの内容の充実
- ②学校が望む支援と産学官の提供できる支援の結び付け
 - 諸機関・団体の施策や取組に係る情報交換、連絡・調整、学校への情報提供
- ③諸会議及び研修会の内容の開催
 - 会議：総会
 - 研修会：高校長、高校担当者、市町村教委担当者、小中学校担当者

目標 夢や目標を持っていると答える小・中学生の割合→83%以上
市町村キャリア教育プラットフォーム構築率→100%維持

(2) 学校・生徒支援事業

①学校の教育活動全体を通じて取り組むキャリア教育の有効な実践方法を研究する高校を重点的に支援

【先導的カリキュラム改革支援事業】 6校

- 各教科・科目等の学習と将来の生活を結びつけて、学ぶ意義を理解させ、学ぶ意欲を高めるキャリア教育の研究
- 思考力・判断力・表現力等の育成及び主体性・多様性・協働性の涵養に資するキャリア教育の研究
- 課題探究的な活動の導入による課題対応能力の育成
- 地域、関係機関等の外部機関との連携によるコミュニケーション能力の育成

②進路目標が明確でない高校生、学校生活に悩みや不適応傾向のある高校生へのガイダンスや支援

【社会的自立支援事業】

- 学校が実施するプログラムを支援
 - ・ソーシャル・スキル教育(小集団や学級におけるソーシャル・スキル・トレーニング)
 - ・老人介護施設、幼稚園・保育所、小中学校との交流(教科指導、部活動交流、教員の連携)等

目標 「就きたい職業がイメージできる」と答える高校生(新規 高校生意識調査) →H28 68.4% H29 70%

③就業体験保険料補助

【「ずく出せ修業」就業体験事業】

- 保険料を補助し、高校生就業体験を推進

目標 ・高校生就業体験参加者数→12,100人以上 ・高校卒業時点で就業体験活動を行った生徒の割合→100%

3 平成29年度予算額 850万9千円